

「ごあいさつ」

熊本県立熊本かがやきの森支援学校は、日常生活の場面でより支援が必要な重度重複障がいのある児童生徒が安全安心な学びの場で十分な教育を受け、地域の方と支え合いながら輝くことのできる学校を作りたいという思いから設置され、開校１２年目を迎えました。「本校」は熊本市西区横手にあり、県産材をふんだんに使った温かみのある校舎と最新の設備が整えられています。児童生徒は自宅からの通学又は訪問教育で学んでいます。「江津湖療育医療センター分教室」は熊本市東区画図町にある「社会福祉法人 志友会 くまもと江津湖療育医療センター」様の中にあり、入所している児童生徒が通学又はベッドサイドで学んでいます。

５月１日現在、「本校舎」に７１人、「江津湖療育医療センター分教室」に１４人、総勢８５人の児童生徒が在籍しています。

開校時の思いを引き継ぎ、教育目標を「安全安心な教育環境づくりに努め、関係機関と連携しつつ、一人一人が持てる力を主体的に精一杯発揮できる教育を行う。」としています。また、校訓を「かがやく笑顔 学ぶ感動 つながる喜び 明日への生きがい」です。この教育目標を具現化し、校訓に示された児童生徒の姿を実現できるよう、本年度は以下のことに重点的に取り組みます。

- 安全安心な教育環境を保持する。
- 児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を図る。
- 近隣校や地域との交流及び共同学習の更なる充実を図る。
- 人とかかわりながら自分らしく生きるための地域生活支援及び進路指導を推進する必要な力を育てる教育の推進を図る。
- 地域におけるセンター的機能の充実に努める。
- 職員一人一人が力を発揮しやすい風通しの良い学校づくりを推進する。

安全安心な学校、自立に向け児童生徒一人一人の持てる力を精一杯伸ばす学校、地域に愛される学校、発展する学校を目指し、今年度も「チームかがやき」で取り組んでまいります。

熊本県立熊本かがやきの森支援学校長
富永 佐世子